

第26回 栗山川浄化啓発作品入賞者

【標語の部】

最優秀賞

五十嵐 洋子 (横芝中2年)

栗山川

あなたの力で

変わる川

優秀賞

若梅 春菜 (横芝小5年)

田邊 美岬 (横芝中3年)

【ポスターの部】

最優秀賞

小林 史佳 (横芝中1年)



優秀賞

糸房 佳亮 (上堺小4年)

井上 卓 (横芝小6年)

田中 紀之 (横芝小6年)

大友 柚葉 (横芝中1年)

福島 楓 (横芝中1年)

【作文の部】

最優秀賞

田中 麻梨亜 (横芝中3年)

「今、栗山川は・・・」

平成十八年三月二十七日、横芝町と光町が合併して「横芝光町」になります。

将来像は「栗山川の流れがはぐくむ人・自然・文化が共生する町」だそうです。

私はこの前、用事である場所へ行きました。そこでは、コンクリート製の橋を境に、横芝町と光町に分かれています。そしてその下で、悠然

と流れる栗山川。辺りの景色を映して陽光にキラキラと輝いていました。

この川は横芝町と光町、どちらのだろう？ふと、そんな疑問が浮かんで私は川のほとりまで下りました。なにかあるかもしれないと思って探索してみると、確かにそこらじゅうにいろいろと転がっています。空き缶やビニール、釣り糸や煙草の吸い殻などゴミばかりでした。

川に近づいて中を見してみると、やはり相当濁っていて、魚の影は見えません。ゴミもブカブカと浮かんでいます。

私は今まで、汚染防止ポスター・標語・作文などいろいろなジャンルで呼びかけをしてきましたが、結局はあの頃―初めて栗山川を見た小学校5年生の夏と同じ、もしくはそれ以上に川は汚れてしまっていました。

本当に、ショックでした。皆、「栗山川の汚染防止」に何を思っているのでしょうか。けれどそれ以上に、私も本当にそういった気持ちで活動してきたのか分からなかったことが何よりも悲しかったです。

結局、栗山川がどちらのものは不明に終わりましたが、私は大切なことを学びました。「言うは易く、行うは難し」。ゴミ拾いなんかは面倒だ

し、一人でやるには恥ずかしい。確かにそうだと思います。

だからこそ力を合わせ、皆で呼びかけ合い、皆で実行すべきではないでしょうか？いいことも悪いことも、全てはいつか自分達に返ってきます。このままだと、数倍のしっぺ返しを栗山川から受けることになるでしょう。

人・自然・文化が「共生」する町―将来像が「像」のままに終わらないことを、私は心から願いました。

数日後、私はまた同じ場所へ行きました。栗山川は相変わらず、ゆったりと流れていました。

最終目的地は、やはり海―世界で共有している大切な源。その時、私は思いました。川は誰かのものじゃない、皆で守っていかなくてはならないんだ、と。

今度私は、ゴミ拾いに参加するつもりです。小さなことからコツコツと。「塵も積もれば山となる」。

